

# 令和2年10月 東京地区百貨店売上高概況

令和2年11月24日

## I. 概況

1. 売上高総額	999億円余
2. 前年同月比	-4.3% (13か月連続マイナス)
3. 店頭・非店頭の増減	店頭-5.9%(90.0%) : 非店頭12.6%(10.0%) ( )内は店頭・非店頭の構成比
4. 調査対象百貨店	12社 25店 (令和2年9月対比±0店)
5. 総店舗面積	819,379㎡ (前年同月比:-1.9%)
6. 総従業員数	16,316人 (前年同月比:-5.4%)
7. 3か月移動平均値 (店舗数調整後)	3-5月 -59.6%、4-6月 -56.1%、5-7月 -40.1%、 6-8月 -27.0%、7-9月 -30.8%、8-10月 -24.3%

【参考】 令和元年10月の売上高増減率は-19.0% (店舗数調整後)

### 【特徴】

- (1) 10月の東京地区は、「Go Toトラベルキャンペーン」東京解禁もあり、入店客数(28.8%減/13か月連続)は前月より8.9ポイント回復したが、継続する外出自粛の傾向や免税売上の大幅減から売上高は前年同月比4.3%減となった。
- (2) 店頭販売が苦戦する一方、非店頭売上は12.6%増となった。この背景には、コロナ禍における顧客ニーズ対応でECを強化したことに加え、電話受注やテレビ通販等非接触型の販売方法を積極展開した他、外商顧客による高額品需要の高まり等がある。
- (3) 商品別では、時計を中心に美術・宝飾・貴金属(55.2%増)が高伸した雑貨(3.0%増)や、イェナカ需要が継続している家庭用品(21.6%増)がプラスに転じた。半面、衣料品(8.8%減)はビジネスの不振や、ブランド撤退の影響もあり、紳士・婦人ともにマイナスだった。また、ラグジュアリーブランドが好調な身のまわり品(1.7%減)や、食品催事の開催により食料品(7.5%減)は比較的健闘した。
- (4) 個別アイテムでは、月後半の気温低下でマフラーや手袋などの防寒アイテムが動いた他、羽毛布団など寝具も堅調だった。スポーツ関連はゴルフやアウトドアが好調に推移した。化粧品についても、インバウンドを除く国内市場に限れば、クリスマス限定商品や保湿系のスキンケアが人気を集め、比較的堅調だった。また、歳暮、クリスマスケーキ、おせちはECが高伸しており売上を下支えしている。
- (5) 11月中間段階の商況は、新型コロナウイルス感染者増加により来店客が減少したことで17.1%減(11/18)で推移している。

### 【要因】

- (1) 営業日数増減 31.0日 (前年同月比 +1.0日)
- (2) 入店客数増減 (回答店舗数で見る傾向値/前年同月比/有効回答数17店舗)  
①増加した: 1店、②変化なし: 0店、③減少した: 16店
- (3) 10月歳時記 (秋物商戦、秋の行楽)の売上 (同上/有効回答数13店舗)  
①増加した: 1店、②変化なし: 1店、③減少した: 11店

## 東京地区百貨店 売上高速報 2020年10月

	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率(%)
<b>総 額</b>	<b>99,903,342</b>	<b>100.0</b>	<b>-4.3</b>
紳士服・洋品	8,943,460	9.0	-7.2
婦人服・洋品	16,953,223	17.0	-11.9
子供服・洋品	2,060,406	2.1	0.9
その他衣料品	1,881,547	1.9	3.6
<b>衣 料 品</b>	<b>29,838,636</b>	<b>29.9</b>	<b>-8.8</b>
<b>身のまわり品</b>	<b>13,844,335</b>	<b>13.9</b>	<b>-1.7</b>
化粧品	8,106,607	8.1	-26.5
美術・宝飾・貴金属	9,632,758	9.6	55.2
その他雑貨	4,081,141	4.1	3.3
<b>雑 貨</b>	<b>21,820,506</b>	<b>21.8</b>	<b>3.0</b>
家具	1,234,442	1.2	11.9
家電	812,933	0.8	50.0
その他家庭用品	3,000,724	3.0	19.8
<b>家 庭 用 品</b>	<b>5,048,099</b>	<b>5.1</b>	<b>21.6</b>
生鮮食品	3,645,215	3.6	-8.2
菓子	5,704,687	5.7	-14.3
惣菜	6,261,426	6.3	-4.8
その他食料品	7,995,508	8.0	-3.7
<b>食 料 品</b>	<b>23,606,836</b>	<b>23.6</b>	<b>-7.5</b>
<b>食 堂 喫 茶</b>	<b>1,748,023</b>	<b>1.7</b>	<b>-27.9</b>
<b>サ ー ビ ス</b>	<b>1,688,574</b>	<b>1.7</b>	<b>-12.9</b>
<b>そ の 他</b>	<b>2,308,333</b>	<b>2.3</b>	<b>-2.5</b>

注) 構成比は計算処理上必ずしも100%にはなりません。

本統計には消費税は含まれておりません。

		対前年増減(-)率(%)
商品券	1,511,438 千円	-11.6
従業員数	16,316 人	-5.4
店舗面積	819,379 m <sup>2</sup>	-1.9
営業日数	31.0 日	前年 30.0 日

## Ⅱ. 商品別の動き

主要5品目は、雑貨が13か月ぶり、家庭用品が11か月ぶりのプラスとなった。また、衣料品が13か月連続、身のまわり品、食料品が9か月連続のマイナスとなった。その他の品目は、家電が2か月連続、家具が8か月ぶり、美術・宝飾・貴金属が9か月ぶり、子供服・用品、その他衣料品、その他雑貨、その他家庭用品が13か月ぶりのプラスとなった。

### 【商品別売上前年比の寄与度とトレンド】

商品別	売上前年比	寄与度	トレンド
<b>総額</b>	<b>-4.3</b>	<b>-</b>	<b>13か月連続マイナス</b>
紳士服・洋品	-7.2	-0.7	13か月連続マイナス
婦人服・洋品	-11.9	-2.2	13か月連続マイナス
子供服・洋品	0.9	0.0	13か月ぶりプラス
その他衣料品	3.6	0.1	13か月ぶりプラス
<b>衣料品</b>	<b>-8.8</b>	<b>-2.8</b>	<b>13か月連続マイナス</b>
<b>身のまわり品</b>	<b>-1.7</b>	<b>-0.2</b>	<b>9か月連続マイナス</b>
化粧品	-26.5	-2.8	13か月連続マイナス*
美術・宝飾・貴金属	55.2	3.3	9か月ぶりプラス*
その他雑貨	3.3	0.1	13か月ぶりプラス*
<b>雑貨</b>	<b>3.0</b>	<b>0.6</b>	<b>13か月ぶりプラス</b>
家具	11.9	0.1	8か月ぶりプラス
家電	50.0	0.3	2か月連続プラス
その他家庭用品	19.8	0.5	13か月ぶりプラス
<b>家庭用品</b>	<b>21.6</b>	<b>0.9</b>	<b>11か月ぶりプラス</b>
生鮮食品	-8.2	-0.3	25か月連続マイナス*
菓子	-14.3	-0.9	9か月連続マイナス*
惣菜	-4.8	-0.3	9か月連続マイナス*
その他食料品	-3.7	-0.3	8か月連続マイナス*
<b>食料品</b>	<b>-7.5</b>	<b>-1.8</b>	<b>9か月連続マイナス</b>
<b>食堂喫茶</b>	<b>-27.9</b>	<b>-0.6</b>	<b>13か月連続マイナス</b>
<b>サービス</b>	<b>-12.9</b>	<b>-0.2</b>	<b>13か月連続マイナス</b>
<b>その他</b>	<b>-2.5</b>	<b>-0.1</b>	<b>2か月ぶりマイナス</b>
<b>商品券</b>	<b>-11.6</b>	<b>-0.2</b>	<b>4か月連続マイナス</b>

(注) 化粧品、美術・宝飾・貴金属、その他雑貨、生鮮食品、菓子、惣菜、その他食料品については2006年1月から細分化した。

お問い合わせは、日本百貨店協会 森・橘・長柴 まで  
 TEL 03-3272-1666 ホームページアドレス <http://www.depart.or.jp>